

[引率担当者より]

当日は、事前打ち合わせにて各学校ごとに役割を与えられ、分担場所での活動を開始しました。本校の高校生ボランティア3人は、昼食の準備を担当することになったので、開会式には参加せず、調理室で200人分のミニ弁当を手作りで用意しました。エアコンのない教室での作業ではありましたが、地域のボランティアの方々と楽しそうに笑顔で取り組んでいました。打合せの時に「細かく



指示は出さないで、周りをよく見て臨機応変に動いてください」との指示がありましたが、力仕事など担当外の作業にも率先して取り組むことができました。最後の片付けまで「疲れた」という言葉を一言も発することなく自主的に動いている姿はさすが3年次生。今回は裏方での活動主ではありませんでしたが、自分たちの働きが誰かの役に立っていたり、助けになったりしているということに気づくことができ、またそこから喜びを得ることができたというのは、大きな意味があったことと思います。終始笑顔で「参加できて良かった、楽しかった」という感想を聞くことができ、今後の活動にも期待したいと感じました。



今年度、本校生が結城特別支援学校のボランティアに参加させていただいたのは今回で2回目となります。毎回、同じメンバーとは限りませんが、複数回参加している生徒を中心にボランティアの活動に良い意味で慣れることが出来てきました。10月には、野球部の生徒が下妻特別支援学校のボランティアに参加する予定です。何かをさせていただく経験を通して、

多くのことを学び考え、身につけることが出来ることと思います。